

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山崎智美
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519
事務事業名	4193 農道改良事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	010000 農道改良事業										
事業目的						事業概要・効果						
市の農業は果樹を主体としており、農作業の合理化・機会化と共に、集出荷時の荷傷み防止のため農道改良は重要であり、陳情も多く受けている。						農道整備は、農作業の合理化（荒廃農地防止含む）と共に集出荷時の荷傷み防止のため重要である。農道整備を推進し、農家の経営合理化の促進を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
下八町農道整備工事	市内各農道整備工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		2,376	3,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,376	3,000
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	696.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	696.8	696.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,072.8	3,696.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,221	農業施設長寿命化計画作成業務委託 1,221
14節 工事請負費	1,155	農道整備工事1,155
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,500	測量設計業務1,500
14節 工事請負費	1,500	農道整備1,500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	路肩の崩落により果樹の集出荷に支障が出ているため生産者と地元から強い要望があった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	収穫前に整備したため集出荷の際に荷傷みを防ぐことができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	補助事業対象としないことで、早期に柔軟性のある施工ができたため結果的に低コストで整備できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

最小限の整備でより多くの箇所を整備できる施工案を考える。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
農作物の荷痛み防止し、農業振興を図るために必要である		農業振興を図るため、継続して行う必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	